

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「BPM」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号: K000310-0057

※ 赤字部分は、V3.1からV3.2の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2017

- プラットフォーム通信標準仕様V3.1
アーキテクチャ標準仕様V3.1

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2018年1月19日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名: 株式会社 日立製作所
団体のURL: http://www.hitachi.co.jp/
APPLIC会員番号: K000310

★識別キー項目1
(識別キー項目4つで
ユニークになるように
申請者が指定する)

(d) 製品情報

代表製品名: uCosminexus Service Platform
製品説明のURL: http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/app/kyo2/
複数製品で構成する場合追記:
複数製品で構成する場合追記:
複数製品で構成する場合追記:

★識別キー項目2

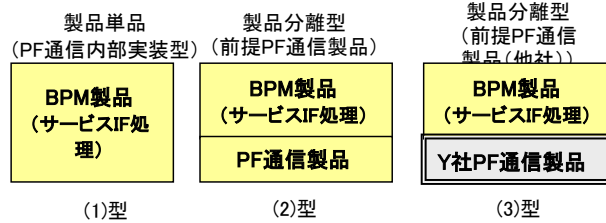
製品識別情報(バージョン等): V9.7

★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦年月日): 2016年10月1日

対応OS: Windows, Linux, AIX

製品の形態((1)型から(3)型): (1)型



前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名:
前提PF通信製品名:

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無:

参考となる情報(オプション):

対応可能なネットワーク

LGWAN:
専用線(閉域網):
インターネット:

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)				
※: 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること ◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)↓				
番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内・外共通	
			製品・ システム 確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	○
1-1	TCP/IPによる通信が可能であること(CS-R020001)	必須	◎	
1-2	HTTPは、HTTP1.1を使用する(CS-R020002)	必須	◎	
1-3	SOAPは、SOAP1.1を使用する(CS-R020003)	必須	◎	
1-4	SOAP通信は、Basic Profile 1.0に準拠すること(CS-R020004)	必須	◎	
1-5	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること(CS-R032001)	必須	◎	
1-6	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること(CS-R032003)	必須	◎	
1-7	標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンに対応できること (CS-R060001~CS-R060005, CS-R060006,CS-R060007, CS-R060009)	必須	◎	
2	プラットフォーム通信標準仕様第4章「プラットフォーム通信標準のビジネスプロセス制御定義仕様」における機能要件を満たす。	必須	◎	○
2-1	BPM機能は、WS-BPELに準拠した以下の機能要件を満たすこと <ul style="list-style-type: none"> ・WS-BPEL V2.0に準拠していること(CS-R040001) ・サービス呼出し/Fに関するreceive、reply、invoke(CS-R040003) ・実行制御に関するsequence、flow、if、while(CS-R040004) (ただし、V1.0の場合は、linkがあるflowは対応できなくてもよい) ・throw(CS-R040005) ・変数処理に関するassign(CS-R040006) ・fault Handler(CS-R040007) ・コリレーションセット(CS-R040008) ・XMLの部分データを変数に割り当てるためのXpath 1.0(CS-R040010) 	必須	◎	
備考欄(前提事項や制限事項)				